

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	994.00	2022/4/18
High	1025.90	2022/4/18
Low	930.50	2022/4/18
Close	933.00	2022/4/22

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4044.00	2022/4/18
High	4229.00	2022/4/19
Low	3842.00	2022/4/22
Close	3856.00	2022/4/22

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2375.00	2022/4/18
High	2490.00	2022/4/21
Low	2355.00	2022/4/19
Close	2378.00	2022/4/22

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	9649.00	2022/4/18
High	10253.00	2022/4/21
Low	9580.00	2022/4/18
Close	9832.00	2022/4/22



ニュースエクスプレス

プラチナ宝飾品販売、過去最高に PGIの米国パートナー各社、2021年は過去最高の売上

プラチナ・ギルド・インターナショナル (PGI) によると、プラチナ宝飾品の販売は2021年第4四半期も好調が続き、2021年は過去最高となった。PGIの『プラチナ・ジュエリー・ビジネス・レビュー 2021年第4四半期』によると、米国のパートナー各社は第4四半期に平均30%の伸びとなり、2021年は過去最高のパフォーマンスを記録した年となった。第4四半期は、ほとんど全てのプラチナ商品カテゴリーで二桁成長を達成。PGIによると2021年の年末の販売高は、前年比で既に3%増えていた2020年からさらに15%増えた。PGI USA Retail Barometer (米国小売バロメーター) は2014年から一貫して上昇基調となっている。

<https://www.nationaljeweler.com/articles/10820-platinum-jewelry-sales-continue-their-record-growth>

コモディティ価格上昇も、鉱山会社大手の業績は低迷

世界的大手の鉱山会社各社の今年の滑り出しは思わしくなく、新型コロナウイルス感染症による中断と世界的なインフレ圧力で、生産目標を達成できずコストも膨らんでいる。昨年は過去最高の利潤をあげ、多くのコモディティもいまだにほとんど過去最高価格で取引されている中、世界的なコロナ禍からの経済回復は鉱山業界にとっては追い風となっていた。しかしエネルギー価格の高騰でコストが上昇している上に、コロナ感染症による鉱山労働者の欠勤と操業上のトラブルから減産となり、成長に陰が見え始めている。経済全体では原材料供給の滞りでインフレ懸念が高まっている。アングロ・アメリカンPlc株は今週初めに過去最高価格で取引されたが、4月21日(木曜日)には、今年はコストが予想より10%高くつくだろうと発表し失望を呼んだ。鉄鉱石、プラチナ、石炭の生産は予想を下回っている。アングロ・アメリカン株はその後、過去7ヶ月で最大となる7.7%の下落となった。アングロ・アメリカンの生産最新予測の公表は、今週の BHP Group、リオティントグループ、ヴァーレ に続くものとなり、各社全て、四半期業績は低調であった。来週はグレンコア Plc の発表が予定されている。BHP は労働力不足が原因で、主要製品である鉄鉱石が減産、銅の通年生産予測も下方修正した。リオティントグループ、ヴァーレも、ともに鉄鉱石生産は減少。鉱山会社各社はインフレによるコスト高に苦しんでおり、ディーゼルや鉄鋼など重要な消耗品の価格が高騰している一方で、主要鉱山国の通貨が上がり、さらにコストプレッシャーが強まっている。

<https://www.mining.com/web/mining-giants-struggle-despite-commodities-price-boom/>

Translated by JBMA Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

- プラチナは、燃料電池自動車(FCEV)に使われるプロトン交換膜技術(PEM)の重要な材料である。この燃料電池自動車市場は、自動車メーカーが大型車セクターを皮切りにゼロエミッション車生産を目指す中で、今後大いに伸びると期待されている。詳しくはプラチナ豆知識「バッテリーに使われるプラチナ」(2022年4月21日)をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2022/04/21>



(@wpicjapan)